

学習の指針（シラバス）

教科名	社会科	実施学年	1年	週時間	3時間
-----	-----	------	----	-----	-----

1. 学習の目標

学習の目標	<p>[地理的分野]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本の諸地域の地理的な特色を理解できる。 ○地図の読図や作図を通して考えたり、表現したりすることができる。 ○地図を活用した事象の説明、自分の解釈を加えた論述、意見交換などができる。 ○世界的視野から見た日本、および日本全体から見た日本の地域的特色を理解できる。 <p>[歴史的分野]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○我が国の歴史の大きな流れを理解し、各時代の特色を理解できる。 ○その時代を大観して表現する活動や各時代の変革の特色から時代の転換をとらえ、歴史的事象について考察、判断しその成果を自分の言葉で表現できる。
使用教科書 副教材等	<p>教科書；東京書籍「新しい社会 地理」・「新しい社会 歴史」</p> <p>地図帳；帝国書院「中学生社会科地図」</p> <p>資料集；浜島書店「つながる歴史 千葉県版」</p> <p>ワークブック；あかつき「ワーク&トライ」（歴史1）（地理1）</p> <p>ノート1冊</p>

2. 学習計画及び評価方法等＜6月1日現在＞

	月	学習内容	学習のねらい	備考	評価
1 学期	6	<p>【歴史分野】</p> <p>(1)歴史のとらえ方</p> <p>(2)古代までの日本</p> <p>①文明のおこりと日本の成り立ち</p> <p>②古代国家の歩みと東アジア世界</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解する。 ・人類の発展から、日本に国家が形成されていった過程のあらましと、天皇、貴族の政治が展開されたことを聖徳太子の政治と大化の改新、律令国家の確立、摂関政治を通じて理解する。 		<p>定期テスト</p> <p>【歴史】(1)(2)</p> <p>ノート点検</p>
	7	<p>【地理分野】</p> <p>(1)世界の姿</p> <p>(2)世界各地の人々の生活と環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地球上の位置関係をとらえる技能や知識を身につけ、世界の地域構成をとらえる。 ・世界各地の人々の生活や環境の多様性を理解する。 		
2 学期	8	<p>【地理分野】</p> <p>(3)世界の諸地域</p> <p>①アジア州</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の諸地域について、それぞれの州の地域的特色を理解する。 		<p>定期テスト</p> <p>【地理】</p> <p>(1)(2)(3)①②</p> <p>ノート点検</p>
	9	<p>②ヨーロッパ州</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに世界の地理学習をもとにプレゼンテーションできる。 		
	10	<p>③アフリカ州</p> <p>④北アメリカ州</p> <p>⑤南アメリカ州</p> <p>⑥オセアニア州</p>			<p>定期テスト</p> <p>【地理】</p> <p>(3)③④⑤⑥</p> <p>(4)</p> <p>ノート点検</p>
	11 12	<p>(4)世界の様々な地域の調査</p>			

3 学 期	1	【歴史分野】 (3)中世の日本	・武家政権が誕生して、武士の支配が次第に全国に広まり武家社会が発展していったという大きな時代の流れを理解する。 ・東アジア世界とのつながりが日本の政治や社会に与えた影響について、多面的・多角的に理解する。	定期テスト 【歴史】 (3)(4)① ノート点検
	2			
	3	(4)近世の日本 ①ヨーロッパ人との出会いと全国統一	・ヨーロッパ人の来航が日本に与えた影響を考察することができ、さまざまな面から全国統一事業の背景と成り立ちを理解する。	

3. 評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
社会事象に対する関心・意欲・態度	A Bの基準を超えたもののうち、特に秀でた内容や態度であるもの。 B 予め定められた課題が概ね期日に出され、内容が基準を満たしている。	☆ 授業中における教師の発問への反応など、教師による観察 ・ ワークブックの提出状況 ノートの取り方
社会事象に対する思考・判断・表現	A 試験において、この観点を問う問題の正解率が80%以上。 レポートなどの評価が概ねA B 試験において、この観点を問う問題の正解率が40%以上。レポートなどの評価が概ねB	・ 中間テスト・期末テストの思考・判断を問う問題の正解率(特に、論述問題の内容を中心として) ・ 学習問題に対するまとめの文章やレポート
資料活用能力	A 試験において、この観点を問う問題の正解率が80%以上。 レポートなどの評価が概ねA B 試験において、この観点を問う問題の正解率が40%以上。レポートなどの評価が概ねB	・ 中間テスト・期末テストの資料活用能力を問う問題の正解率 ・ 地理および歴史の授業で使用するノート ・ 調べ学習などを行った場合のレポートの内容
社会事象に対する知識・理解	A 試験において、この観点を問う問題の正解率が80%以上。 B 試験において、この観点を問う問題の正解率が40%以上。	・ 中間テスト・期末テストの知識を問う問題の正解率 ☆ 単元テスト・実力テストの正解率

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=2点 B=1点 C=0点として4つの観点別評価を合計し、下記の表に照らして算出します。

評定	観点別評価の合計
5	12点
4	10～11点
3	7～9点
2	5～6点
1	4点